

改善計画書(兼改善状況報告書)

作成日: 平成 20 年 3 月 14 日

評価日: 平成 19 年 12 月 11 日

事業所名	グループホーム あいの里
------	--------------

作成者(代表)	職名 <u>管理者</u>
	氏名 <u>真田 ハル子</u>

改善計画書(兼改善状況確認書)

優先順位	改善項目No.		改善目標	改善に向けた計画内容	期間	評価(19 年 12 月 11 日)
	自己	外部				
改善済み	77	28	栄養士による栄養バランスやカロリー摂取量について専門的な観点からのチェック	元病院の管理栄養士に1ヵ月分の献立を見てもらいチェックをして頂いた。 ①食品数も多く食品群別でみるとバランスは良い ②果物を毎日出すこと ③うどん、ラーメン、チャンポンなども ④ごま和えなどでごまも ⑤魚類は鮭と赤魚が多いので、鯖、あじ、鰯サンマなども ⑥海草はわかめが多い、ひじき、切り昆布、とろろ昆布なども ※ 調味料も記録すること	3～4ヶ月毎	左のようなアドバイスを受けて早速実行に移している。また今後も年に2～3回 例えば季節毎に献立チェックをお願いしたり、試食にも訪問して頂きたいと話している
1	33	14	思いやりや意向の把握	その人らしい生活を支援していく為にはセンター方式のシートを使うことにより利用者ひとりひとりの希望や待てる力を引き出す事が出来るのではないかと思います取り組みで行く	更新時、適宜	昨年11月からセンター方式のアセスメントに取り組み始めたばかりであったが、順次ケアプランの更新に合わせて、D-1、D-2シートを使って、3月末には全利用者のアセスメントが終了する。 今後は3ヶ月毎のプランの見直し、状態変化に合わせてアセスメントを行い、また出来るところから他のシートの

改善計画書(兼改善状況確認書)記入例

優先順位	改善項目No.		改善目標	改善に向けた計画内容	期間	評価(年 月 日)	
	自己	外部					
改善済	36	15	ケアプランについて家族の意見、スタッフの意見が反映されるようにする	ケアプラン検討会議を実施した	その都度	スタッフの考え方・家族の想いがよくわかるようになった	
	1	20	11	他施設の良い点を取り入れる	研修、他施設見学、意見交換、交流など積極的に参加する		その都度
	2	14	7	日常の様子、変化を家族も把握出来ている	毎月の請求書送付時に日常の様子を手紙に書いて同封している。大きな変化は電話連絡している	月に1回	家族が安心する 家族との連絡が密になった
	3	15	8	家族との話し合いの場をつくる。何でも話せる関係になる	気軽に意見を言い合える様な場の設定や雰囲気づくり。面接時の声掛け、話し合いも。	定期的に	
		57	23	入居者の希望に合わせた、入浴体制作り	入居者の希望をなるべく取り入れた入浴体制を確立する		現在は入居者の希望をすべて取り入れるだけの人員配慮は不可能である。希望を頭ごなしに否定するのではなく、無理なことを説明し、入浴日に入れない理由があつて、他の日に入浴が必要な場合は極力応じている